

# 令和3年春期 六浦地区推進連絡会

## 1 日時

令和3年3月19日（金） 18:00～19:00

## 2 場所

瀬戸神社 社務所2階

## 3 参加者 33 名

(地域側) 自治会等地域団体関係 19 名

(大学関係)

横浜市立大学・関東学院大学 2 名

(支援チーム、その他行政側)

区役所 4 名

支援チーム 8 名

## 4 意見交換要旨

(1) 開会の挨拶 (地区連合町内会・地区社会福祉協議会 会長)

(2) 区長挨拶 (区長)

(3) 出席者の紹介

地域、大学、区、支援チームの各自自己紹介。

(4) これまでの取組状況及び地域課題と次期計画での取組について

※地区別計画策定・振り返りシート参照

①計画の取り組み状況について

<地域でいきいき楽しい老後>

- ・高齢者の見守り
- ・高齢者お花見会
- ・敬老会
- ・高齢者居場所づくり
- ・学童とのふれあい給食会
- ・学童とのふれあいタイム
- ・昔遊びの会

地区社会福祉協議会

福祉活動委員会第1部会委員長

<楽しい仲間づくり>

- ・研修会
- ・社会見学

地区社会福祉協議会 福祉活動委員会第1部会委員長

<子育てしやすい環境づくり>

- ・子育て支援活動  
(ハイハイくらぶ)
- ・むつりんぴっく

地区社会福祉協議会理事

<子どもから高齢者までみんなで集まろう>

- ・春季ハイキング
- ・秋季ハイキング
- ・お祭り

地区社会福祉協議会 福祉活動委員会第2部会委員長

<安全・安心なまちにするためにみんなで力を合わせる>

- ・社会を明るくする運動  
(地区大会・ミニ集会)
- ・福祉講座
- ・地域ケア意見交換会

地区社会福祉協議会 総務企画委員長

- ・子どもの見守り
- ・防犯パトロール
- ・災害時に備えた取り組み

地区連合町内会会計

・地区社会福祉協議会副会長

- ・広報誌 『社協むつうら』『むつうらたより』の発行

地区社会福祉協議会 広報啓発委員会委員長

(5) 第4期金沢区地域福祉保健計画策定に向けて (事業企画担当係長)

(6) 意見交換

(地区社会福祉協議会 福祉活動委員会第2部会委員長)

①災害時要援護者名簿の作成の基準について

②名簿の管理について

現在、各自治会町内会の金庫で名簿を保管し、各会長が金庫の鍵を管理しているが、管理基準をもう少し緩和することはできないか。

名簿の写しを取ることもできず、町内会の災害時要援護者名簿担当者が名

簿を取扱いづらい状況となっている。また、金庫の鍵の管理を一人で行うと、発生時に名簿を運用しづらくなる恐れがあると懸念している。

(こども家庭支援担当係長)

①災害時要援護者名簿の種類

(ア) 手上げ方式：各自治会町内会で聞き取りして作成。

(イ) 情報共有方式：市が保有するデータを基に作成。災害時の要援護者支援のための参考資料という位置づけ。

※要介護認定を受けている方、障害者総合支援サービスの支給決定を受けている方等の4つの基準有。

その他の名簿

(ウ) 民生委員が持つ名簿：75歳以上のみで構成される世帯を記載。

それぞれが、審議会で使用目的を定められており、原則、相互に情報共有できない。

但し、本人の同意を得ることができれば、情報共有できる場合もある。

②災害時要援護者名簿の管理について

情報共有方式の名簿については、鍵のかかる書庫等で保管することとなっている。但し、鍵は複数人での保管も可とされている。鍵の管理者となった者は区への届出が必要となり、毎年実施している研修会に参加いただいている。

③その他事前にいただいていた質問への回答

災害時要援護者名簿掲載者で施設入所されている方の把握について

→情報共有方式の名簿は、介護保険施設（特別養護老人ホーム等）に入所されている方は掲載されていない。但し、介護保険サービスではない住宅型の有料老人ホーム等に入居されており、住民票を移されていない場合は名簿に掲載される。

災害時に地域防災拠点に配付する要援護者名簿について

→災害時には、区役所で保有している要援護者名簿を地域防災拠点運営委員会にお渡しする。

(福祉保健センター担当部長)

情報共有方式の名簿については、手紙でご本人に情報提供の可否を尋ねて、拒否が無かった場合に提供している。その際の条件として、外部者が容易に名簿を閲覧できない状態にしているため、名簿は金庫等で厳重に管理して頂いている状況。

情報共有方式の名簿は、あくまでも地域にいらっしゃる方を把握するためのものとし、地域で作成する手上げ方式の名簿を補完する位置づけにさせていただくと、活用の幅が広がると考えている。

(地区連合町内会事務局長・地区社会福祉協議会副会長)

情報共有方式に関する研修会は、初めて名簿を受取った際にしか受けておらず、新しい担当者が情報を把握できていない。担当が変わった場合には、研修会等に参加させていただくなどして、情報共有を徹底していただきたい。

(福祉保健センター担当部長)

原則、研修は初めて協定を結ぶ自治会町内会を対象として実施しており、その後は、各自治会町内会内で情報共有していただいている状況。必要に応じて個別に研修用 DVD を配付するなどしているため、今後ともご相談いただいた自治会町内会の状況に合わせて対応させていただきたい。

(7) 令和3年度区づくり推進費等説明 (税務課担当課長)

(8) その他

(瀬ヶ崎小学校長)

コロナ禍で制限が多い中、子どもたちの今を大切に、できることをできる範囲で工夫して実施した1年だった。感染症対策の励行により、欠席が少ない年でもあった。

(六浦小学校長)

卒業式では、見守り隊等の登校支援の方々にも見送っていただいた。児童が6年間の感謝の気持ちを伝える場面もあり、ありがたい繋がりだと感じた。

(六浦中学校校長)

卒業式では歌を2曲歌うこともできた。3月には1・2年生の球技大会も実施。コロナ禍で地域との繋がりが持てなかった反省を、次年度に活かして

いきたい。

(関東学院大学社会連携センター係長)

授業は秋口に一時対面となったが、基本的にはオンラインとなった1年だった。現在もオンライン授業としているが、次年度は基本的に対面授業を予定。公開講座についても対面で実施を予定している。

(横浜市立大学ボランティア支援室コーディネーター)

昨年度は入学式ができなかったが、今年度は4/5実施予定。コロナ禍でアルバイトができず困窮する学生等150名を対象に、3/26に食支援の取組を実施予定。(フードバンクかながわ、金沢区社会福祉協議会共催)

(保護司)

コロナ禍で大幅に減少しているなど、現状の説明があった。

(8) 閉会の言葉 (地区連合町内会・地区社会福祉協議会 副会長)